マグロをそだてる

江川多喜雄作　高橋和枝絵　アリス館

さしみや、すしねたとして人気のクロマグロ。しかし、とりすぎのために数がへっています。そこで、一九七〇年、近畿大学水産研究所で、クロマグロの一生を人の手で育て管理する、完全養殖の研究がスタートしました。

広い海を昼も夜も、一生泳ぎつづけているクロマグロは、どうくらしているかもわかっておらず、研究は失敗の連続でした。

なぞとされていた生態と完全養殖成功までの三十二年間が、たくさんの絵で、わかりやすく説明されています。